

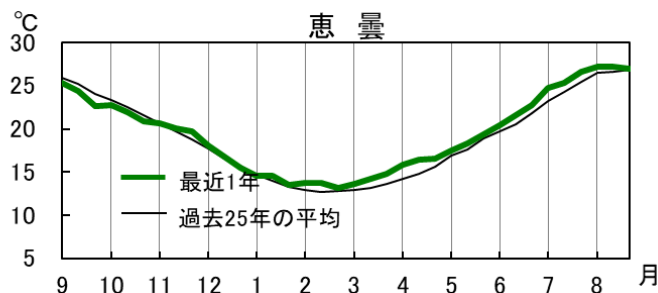
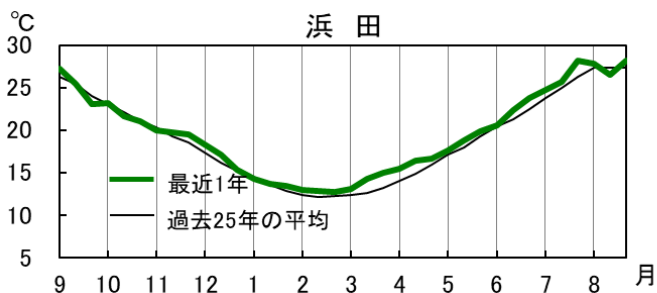


(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

<https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

《8月の海況》



8月	浜田			恵曇		
	評価	平均	平年差	評価	平均	平年差
上旬	平年並み	27.5°C	+0.2°C	平年並み	27.2°C	+0.5°C
中旬	平年並み					
下旬	平年並み					



《8月の漁況》

【中型まき網漁業】

浜田地区ではサバ類、マアジ主体の漁況でした。魚種別の漁獲量の動向は、サバ類が平年の4割、マアジは平年の1割未満でした。隠岐地区ではマアジ、サバ類、ブリ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は21.4トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、マアジは877トンで平年の2.4倍、サバ類は803トンで平年の2.3倍、ブリは781トンで平年並みでした。一方、マイワシは625kgでほとんど漁獲されませんでした。

【イカ釣漁業】

浜田地区(属地5トン以上)での漁獲はケンサキイカが主体となり、1隻1航海当りの漁獲量は71.6kgで平年を上回りました。西郷地区(属人5トン以上)での漁獲はスルメイカが主体で、1隻1航海当りの漁獲量は26.9kgと、平年の4割ほどの水揚げでした。

【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではアカムツ、キダイ、アナゴ・ハモ類を主体に、1統1航海当りの漁獲量は9.2トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、アカムツは平年の9割、キダイは平年の1.1倍、アナゴ・ハモ類は平年の1.6倍でした。その他、アマダイ類は平年の2.9倍、マダイは平年の1.7倍、ヤナギムシガレイは平年の1.2倍と好調でしたが、アンコウ類は平年の8割、ムシガレイ、ケンサキイカおよびマトウダイは平年の4割の水揚げでした。

【ばいかご漁業】

石見地区ではエッチュウバイを主体に、総漁獲量は25.0トンで平年の1.6倍、1隻1航海当たりの漁獲量は1.4トンで平年の1.5倍でした。エッチュウバイの漁獲量は23.7トンで平年の1.7倍、銘柄別では「中」「中大」及び「大」の3銘柄で全銘柄の9割弱を占め、特に「中大」は9.0トンで平年の2.3倍でした。

【しいら漬け漁業】

本年度は8月の水揚げはありませんでした。

【定置網漁業】

出雲地区ではサバ類、マアジ、シイラ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は14.6トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、サバ類は平年の8.4倍、マアジは平年の2.2倍、シイラは平年の1.8倍でした。石見地区ではサバ類、マアジ、カンパチ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は4.2トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、サバ類は平年の2割、マアジは平年の2割、カンパチは平年の4割でした。隠岐地区ではブリ、ヒラマサ、シイラ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は2.9トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の3割、ヒラマサは平年の3割、シイラは平年の1.2倍でした。

【釣・縄】

出雲地区ではケンサキイカ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は17.9kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ケンサキイカは平年の6割でした。石見地区ではケンサキイカ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は19.5kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、ケンサキイカは平年の9割でした。隠岐地区では、カサゴ・メバル類主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は19.1kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、カサゴ・メバル類は平年の1.5倍でした。

【令和5年8月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海当り漁獲量)		
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %
中型まき網	浜田	サバ類、マアジ	—	—	—	—	—	—
	隠岐	マアジ、サバ類、ブリ	2,502トン	84%	100%	21.4トン	79%	108%
イカ釣り (5トン以上)	浜田	ケンサキイカ	1.7トン	79%	39%	71.6kg	112%	132%
	西郷	スルメイカ	1.1トン	19%	14%	26.9kg	75%	37%
沖合 底びき網	浜田	アカムツ、キダイ、アナゴ・ハモ類	102トン	106%	80%	9.2トン	87%	82%
ばいかご	石見	エッチュウバイ	25.0トン	175%	160%	1.4トン	146%	146%
しいら漬け	石見	—	—	—	—	—	—	—
定置網 (大型)	出雲	サバ類、マアジ、シイラ	218トン	122%	115%	16.8トン	122%	115%
	石見	サバ類、マアジ、カンパチ	12.7トン	27%	22%	4.2トン	36%	29%
	隠岐	ブリ、ヒラマサ、シイラ	8.6トン	47%	31%	2.9トン	47%	31%
釣り・縄	出雲	ケンサキイカ	31.0トン	155%	97%	17.9kg	111%	92%
	石見	ケンサキイカ	33.6トン	150%	110%	19.5kg	121%	109%
	隠岐	カサゴ・メバル類	10.6トン	90%	71%	19.1kg	129%	103%

※ 平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較

※ 大型定置網漁業のCPUEは1経営体当り漁獲量を示す。

※ 水温の評価「はなはだ〇〇」：約20年に1回の出現確率である±2℃程度の高さ

「かなり〇〇」：約10年に1回の出現確率である±1.5℃程度の高さ

「やや〇〇」：約4年に1回の出現確率である±1℃程度の高さ

「平年並み」：約2年に1回の出現確率である±0.5℃程度の高さ